

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)

吉野地区

平成26年1月

鹿児島県鹿児島市

評価結果のまとめ

都道府県名	鹿児島県	市町村名	鹿児島市	地区名	吉野地区		面積	114.1ha
交付期間	平成21年度～25年度	事後評価実施時期	平成25年度	交付対象事業費	5,609.0百万円	国費率	0.4	

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園(1号公園、6号公園、7号公園、近隣公園:実施設計)、高質空間形成施設(緑道整備)、土地区画整理事業(吉野地区)					
		提案事業	公共下水道整備事業(汚水)					
			事業名	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から削除した事業	基幹事業	公園(5号公園、近隣公園:施設整備)	土地区画整理事業の進捗状況から、計画期間内の整備が困難となったため、交付対象事業から5号公園及び近隣公園(施設整備)を削除した。		指標3「避難場所までの平均距離」に影響があるため、数値目標を変更した。(当初目標値179→変更後222)		
		提案事業	なし	-		-		
	新たに追加した事業	基幹事業	なし	-		-		
	提案事業	なし	-		-			
交付期間の変更	当初	平成21年度～平成25年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-			
	変更	-	-		-			

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
指標1	地区内通過所要時間	秒	270	H20	210	H25		196	○	あり	九州自動車道「薩摩吉田IC」と本市の中心市街地を結ぶアクセス道路である「主要地方道鹿児島吉田線」の整備が進み、地区内を通過する所要時間の短縮が図られ、交通渋滞が緩和された。	平成26年5月
指標2	車が離合できる道路の割合	%	83	H20	90	H25		93	○	あり	土地区画整理事業区域内において、離合が困難な幅員5m未満の狭隘道路が解消され、新たな幹線道路や生活道路の整備により、大部分の道路で車両が離合できる幅員が確保された。	平成26年5月
指標3	避難場所までの平均距離	m	289	H20	222	H25		222	○	あり	計画した3街区公園の整備と近隣公園の実施設計が完了し、地域住民のコミュニティの場となる公共空間と災害時の避難場所が確保された。	-
指標4	住民の満足度	%	50	H20	80	H25		73	△	あり	住民満足度の目標値を達成することはできなかったが、土地区画整理事業区域内における幹線道路や生活道路等の整備による交通環境の改善、良好な生活環境の形成が進んだことで、地域住民の住環境に対する満足度が高まった。	平成26年5月
指標5	下水道普及率	%	36	H19	64	H25		59	△	あり	公共下水道(汚水)整備は計画どおり進まなかったが、土地区画整理事業区域内における下水道処理人口が増加し、市民の快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全が図られた。	平成26年6月

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
その他の数値指標1	都市再生整備計画区域内及び周辺地域の居住人口	人	39,320	H21				40,520			土地区画整理事業の推進により、住民が安心・安全に暮らせる良好な生活環境が形成され、定住意識の向上が図られたことで、区域内及び周辺地域の居住人口が増加した。	平成26年5月

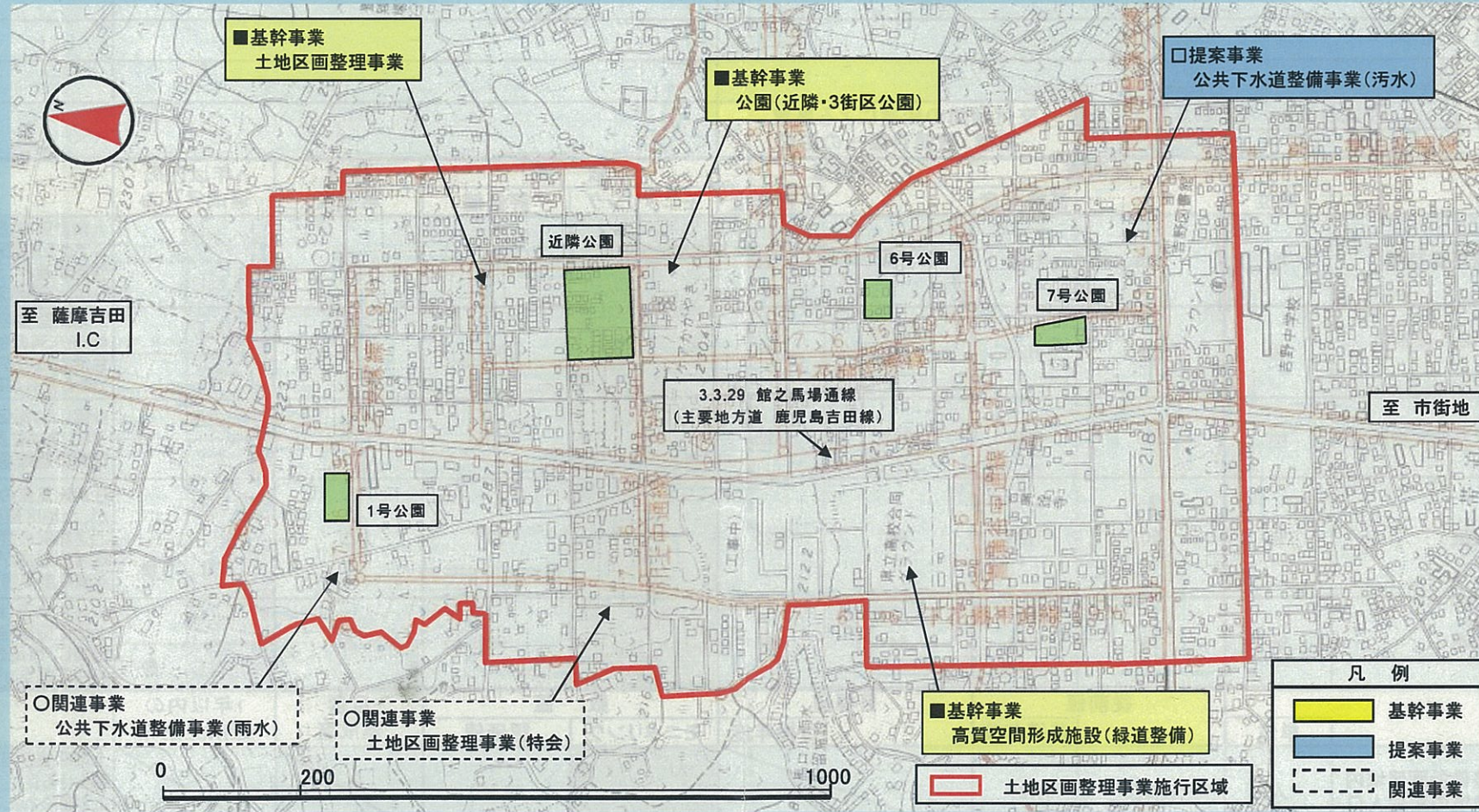
4)定性的な効果発現状況
 ・宅地の利用増進とともに、道路や公園、緑道などの公共施設の整備により、良好な住環境の形成と都市景観の向上が図られた。
 ・狭隘道路の解消により、消防車や救急車等の緊急車両の通行が可能となり、到着時間の短縮も図られ、地域住民の安心・安全の確保に貢献した。
 ・商業施設や医療施設等の立地が進み、市民生活の利便性が向上した。

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	
	住民参加プロセス	公園設計に係る住民アンケート調査	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		地域住民の意見を反映したまちづくりに努める。
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

地区の概要

吉野地区(鹿児島県鹿児島市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	目標値	従前値	目標値	従前値	目標値
大目標：機能的で多彩な交流が広がるまちづくり 目標1：交通環境の改善による安全で快適なまちづくり 目標2：防災性の向上による住民が安心して暮らすことができるまちづくり 目標3：住民の快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全を図る	地区内通過所要時間	単位:秒	270	H20	210	H25	196	H25
	車が離合できる道路の割合	単位:%	83	H20	90	H25	93	H25
	避難場所までの平均距離	単位:m	289	H20	222	H25	222	H25
	住民の満足度	単位:%	50	H20	80	H25	73	H25
	下水道普及率	単位:%	36	H19	64	H25	59	H25



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業区域内において、主要地方道鹿児島吉田線の整備により交通渋滞が緩和され、また、区域内の大部分の道路で車両が離合できる5m以上の幅員が確保されるなど、安全性と防災性が向上したが、依然として交通環境の改善が必要な箇所が残されている。 土地区画整理事業区域内の6公園の整備が完了し、コミュニティの場となる公共空間と災害時の避難場所が確保されたが、区域内の東側に整備すべき2公園(街区・近隣)が残されている。 土地区画整理事業の進捗に伴い、住宅地周辺の交通量が増加してきているため、交通安全施設を整備するなど、歩行者や車両通行の安全性の確保が必要となってきている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 各種事業により改善された良好な住環境を維持するため、市民と協働した公共施設の維持管理などに努める。 吉野地区土地区画整理事業区域内において、依然として緊急車両の離合が困難な狭隘道路が残されていること、また公園や公共下水道の一部整備が必要な箇所が残されていることから、土地区画整理事業等により公共施設の整備改善を引き続き行い、都市基盤の充実を図る。 土地区画整理事業の進捗に伴い、商業地や住宅地周辺の交通量が増加してきていることから、幹線道路や生活道路において歩行者や車両が安全かつ快適に移動できるよう、歩道整備や交通安全施設の整備を図る。